

施工業者様用

〈施工説明書〉

開きドア(隠し丁番仕様)

ドレタス

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

・はさまれ注意!

強くドアが閉まると指のはさまれや衝撃によるガラスの割れ等が起こる原因となり危険ですので、ドアクローザーやドアストッパーをお使いください。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒドVOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒドVOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・丁番用固定ネジは確実に締める。

丁番用固定ネジの締め忘れ、ゆるみ等による開閉はドア脱落の原因になりますので、必ず固定ネジは確実に締めてください。施工後に再確認をお願いいたします。

・ドアクローザーは上部木口より50mm以内に取り付ける。

ドアクローザーを50mm以上離れた位置に取り付けるとビスがきかなくなり、ドアクローザーが脱落する原因となり危険です。

・レバーハンドル用取り付けビスは確実に締める。

レバーハンドル取り付け用のビスの締め忘れ、ゆるみ等による開閉はレバーの脱落の原因になりますので必ず取り付けビスは確実に締めてください。

施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

開梱

梱包を開いたらドア本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

■ 梱包内訳表

シングルドア

	部材名	数量	備 考
	ドア	1 枚	錠ケース取付済
	施工説明書	1 部	
	使用説明書	1 部	必ずお施主様に渡してください

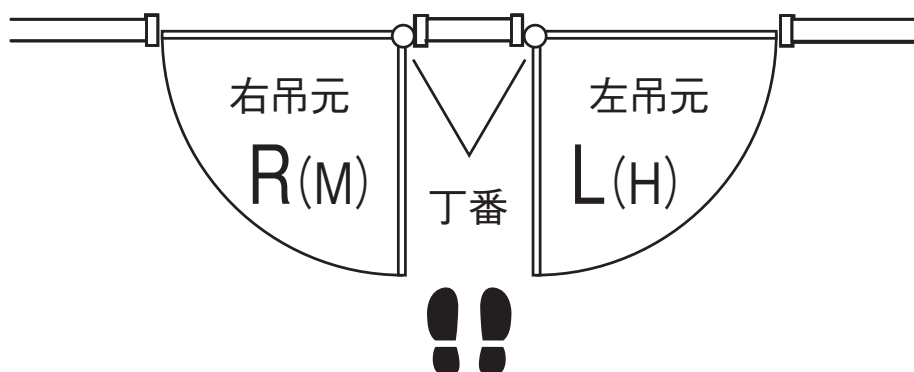
レバーハンドル(別売品)

	部材名	数量	備 考
	レバーハンドル	1 セット	
	3mmレンチ	1 本	必ずお施主様に渡してください

お願い

同梱されています3mmレンチと使用説明書は、必ずお施主様に行き渡るようご配慮願います。

扉吊り込み時の向きにご注意ください



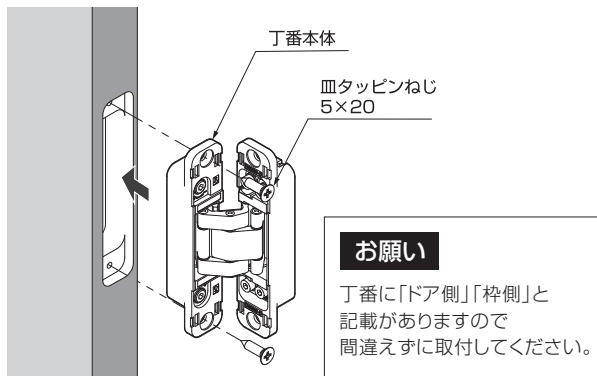
お願い

- 施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- 照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

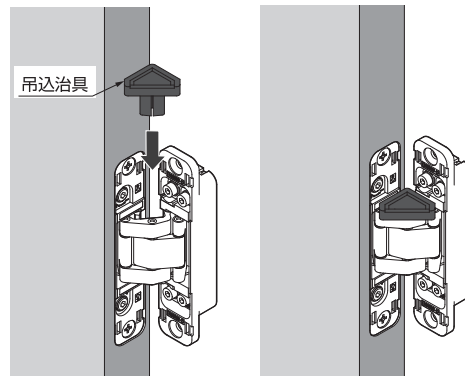
施工手順

お願い レバーハンドル取付までは、ドアを閉めないでください。

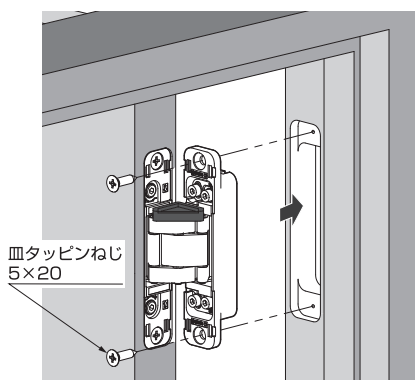
1 丁番を扉側へ取り付ける



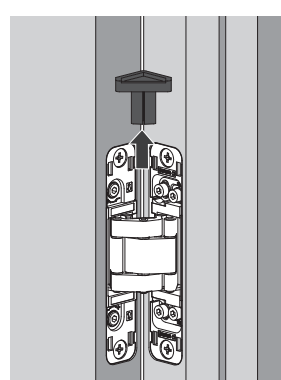
2 治具の取付け



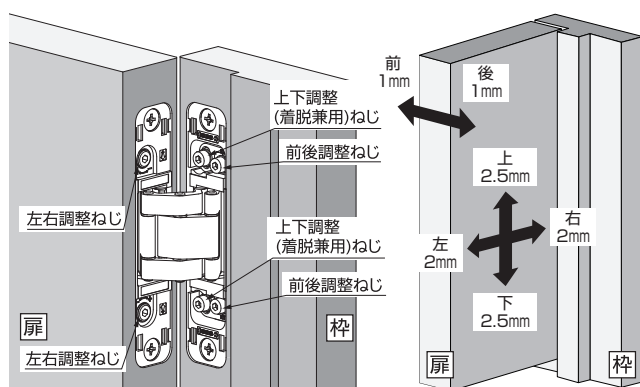
3 扉の吊り込み



4 治具の取外し



扉の位置調整



左右の調整

ねじ（1つの丁番に2ヶ所）を回すことで扉を動かして調整をします。（右に回すと枠と扉のすきまが広がります）

① 2つのねじを少しずつ同じ量だけ回してください。片方だけ回し続けると丁番が破損するおそれがあります。

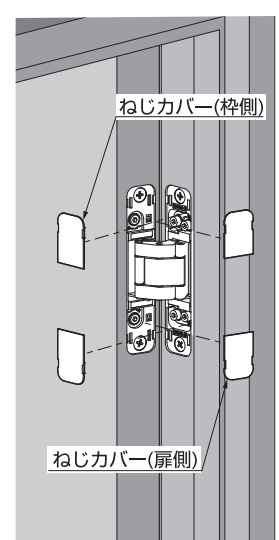
⚠ 調整範囲は±2 mmです。調整ねじを右に回す時はそれ以上に動きますが、部品がせり出すため、ねじカバーがはまらなくなります。更に回し続けると扉が外れてしまいます。

上下・前後の調整

ねじを半～1回転分緩め、扉を最適位置にした状態でねじを締め込みます。扉の下に、かいもの等を用いて扉を保持しながら作業してください（推奨締付トルクは3.5 N・mです）。

Ⓢ 調整の際に上下・前後調整ねじを緩めすぎて外さないでください。扉が脱落して、けがをされるおそれがあります。

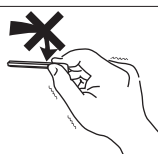
ねじカバーの取付け



扉を取り外す際は上下調整ねじ(着脱兼用)を外してください。
※扉が大きく重いため、十分に注意して取り外してください。

お願い

破損の原因になりますので、きつく力を込めて押すのはおやめください。

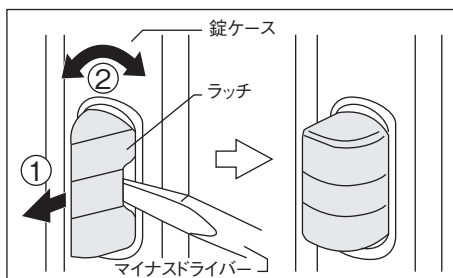


お願い

金具の固定を行う際は、過大トルクを発生させる工具の使用により、商品に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

■ラッチの設定

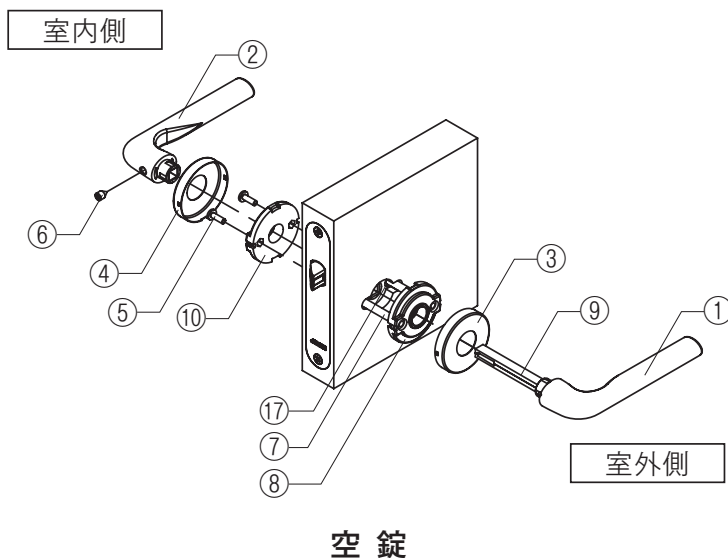
ラッチは右吊で設定してあります。
左吊の時は必ず下図のように
ラッチを反転させてください。



- ①ラッチの水平側の差し込みに
マイナスドライバーを入れて
前に出します。
- ②ラッチを反転させてください。

■レバーハンドルの取り付け

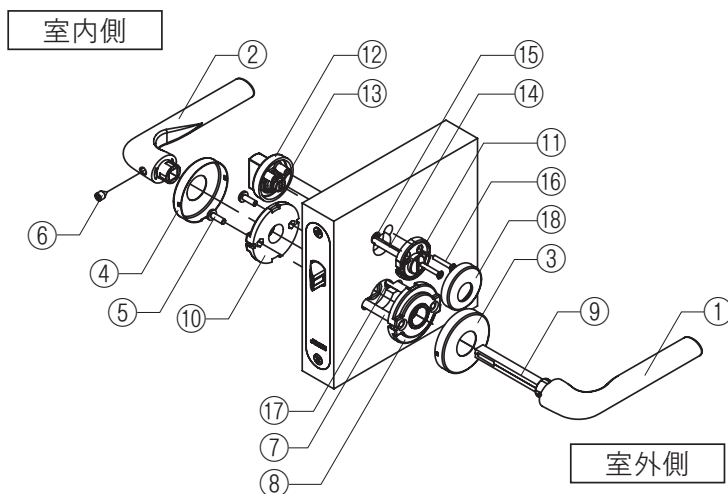
●丸座の場合



レバーハンドルの取付

- (1)外部ハンドル座⑧に取付ネジ柱⑦を2個挿入し、化粧カバー③をかぶせ、切り込み穴⑰に挿入してください。
- (2)室内側より内部ハンドル座⑩をはめ込み、座取付ビス⑤で仮固定してください。
次にレバーハンドル①、②をセットし、レバーハンドルが正常に作動するかを確認したうえ、座取付ビス⑤を本締めしてください。
- (3)室内側より、化粧カバー④をかぶせて、レバーハンドル②をハンドル固定ビス⑥にて固定してください。

■間仕切錠、表示錠、シリンダー錠の取付



間仕切錠、表示錠、シリンダー錠の取付

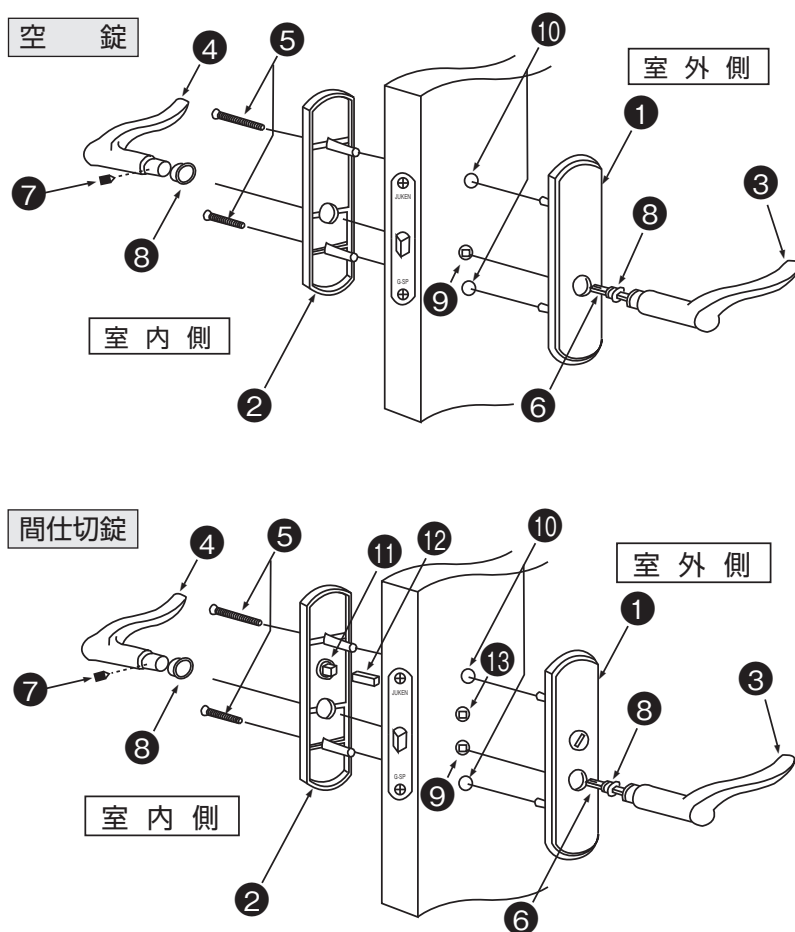
- (1)錠座⑪の連結板⑭をハブ穴⑮に挿入してください。
- (2)サムターン穴⑬にハブ穴⑮を貫通してきた連結板⑭を挿入しサムターン座取付ビス⑯で固定し、正常作動するかを確認してください。
シリンダー錠はキーを抜いた状態で取り付けてください。
- (3)操作がスムーズであればカバー⑱をはめ込んでください。

間仕切錠、表示錠、シリンダー錠

部材・部位名							
①	レバーハンドル(室外側)	⑥	ハンドル固定ビス	⑪	錠座	⑮	ハブ穴
②	レバーハンドル(室内側)	⑦	取付ネジ柱	⑫	サムターン座	⑯	サムターン座取付ビス
③	化粧カバー(室外側)	⑧	外部ハンドル座	⑬	サムターン穴	⑰	切り込み穴
④	化粧カバー(室内側)	⑨	角芯	⑭	連結板	⑱	カバー
⑤	座取付ビス	⑩	内部ハンドル座				

■レバーハンドルの取付

●長座の場合



レバーハンドルの取り付け

- (1) 室外側より外部ハンドル座①を切欠き穴⑩に挿入してください。
- (2) 室内側より内部ハンドル座②をはめ込み、ハンドル座取り付けビス⑤で締め付けてください。
- (3) レバーハンドル③を角芯穴⑨に通して、反対側のレバーハンドル④を角芯⑥と合わせて、取り付けビス⑦で締め付けてください。(ナイロンワッシャー⑧のセット忘れのないようご注意ください。)

部材・部位名

①	外部ハンドル座(室外側)
②	内部ハンドル座(室内側)
③	レバーハンドル(室外側)
④	レバーハンドル(室内側)
⑤	ハンドル座取り付けビス
⑥	角芯
⑦	取り付けビス
⑧	ナイロンワッシャー
⑨	角芯穴
⑩	切欠き穴

⚠ 注意

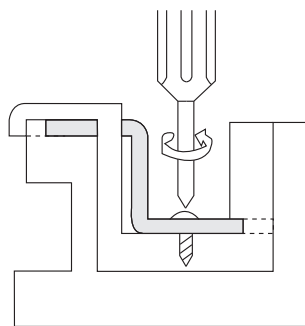
レバー脱落防止の為、レバーハンドル用取り付けビスは確実に締め付けてください。ガタつきなどの原因となりますのでインパクトドライバーを使用する際はご注意ください。

■ドアの上下・左右およびラッチ受けの調整

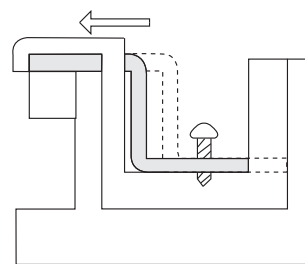
ドアと枠の隙間が適切になるようにドアの丁番を調整してください。また、ドアがガタつく場合、あるいはラッチが入りきらない場合はラッチ受けの調整機能を使って建て付けの補正を行ってください。

(イ) ラッチが正常にラッチ受けに納まらない場合は下記方法で調整してください。

調整ラッチ受け



ラッチ受けの中の固定ネジを
⊕ドライバーでゆるめます。



スライド板を矢印の方向に動か
かし、広げます。位置を確認し
て、固定ネジを締め、完了で
す。